

第2回 MGR

トピックス: ARB vs ACEI

発表者: 吉崎徹 (循環器内科)

コメンテーター: 禰津光廣 (糖尿病内分泌内科)

文献:

Telmisartan, Ramipril, or Both in Patients at High Risk for
Vascular Events

The ONTARGET Investigators

N Engl J Med 2008; 358:1547-1559

2010年5月10日

私と高血圧

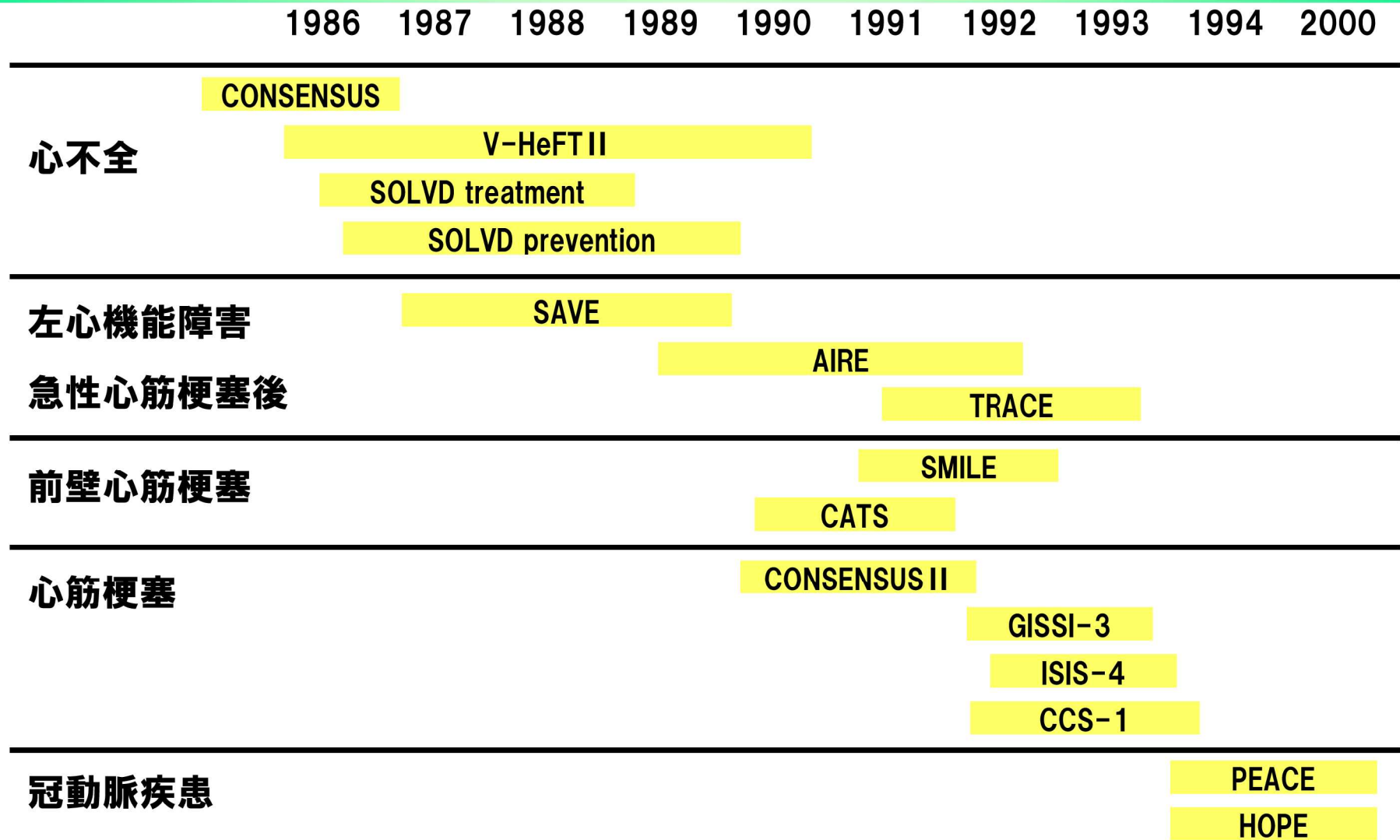
悪性高血圧の治療奮闘記

- 東北大学第二内科では昭和31～39年までに受診した本態性高血圧(EH) 2,164例の長期生命予後を30年間90%の追跡率で調査している(富永研究)。その成績ではCcr50ml/分以下の腎機能障害のある患者の50%は1～2年の間に脳卒中や急性左心不全で死亡した。
- 昭和54年5月 カプトプリル (SQ14225) の臨床試験が開始された。
- ACE阻害薬カプトプリルの登場は長い間 苦しんだ高レニン性悪性高血圧の治療を可能にした。一夜にして高レニン性悪性高血圧の治療を成功させた 夢のような薬剤であった

(阿部圭志, 血圧2008)



ACE阻害薬の無作為臨床試験



驚くべき心血管イベント抑制効果が証明された ～HOPE～

ラミプリルのリスク減少効果(プラセボ群との比較)

